

標語

ゝそなえよつねにゝ
スローガン
ゝ日 日 の 善 行ゝ

スカウト
浜 松

ち か い

私は名誉にかけて次の三条の実行を誓います。

1. 神と国とに誠を尽しおきてを守ります。
2. 他の人々を援ります。
3. 身を強くして心をすこやかに徳を養います。

ジャンボリーの語源とその歴史

ジャンボリーの語源

1920年第1回ジャンボリーが、ロンドンのオリンピックで開かれたとき、ペーテン・パウエルは始めて、ジャンボリーという名称を用いた。この奇妙な名称のわけを、ある人がたずねたところ、彼は、明答を与えなかつたと、レイノルド氏はその著書に記している。従つて語源については定説がないが、どこかの土人の言葉だろうということになっている。豪州のウイナーという人が、シドニーのモーニングヘラルド紙に寄稿し

た文によると、この語は北米インディアンの言葉だという説があるが、そうではなくて、1840年頃北米でシヴァリーという言葉があり、それが、フランス語ジャリヴァリーに転訛し、更に東部にいつてジャンパリーとなり、ニューイングランドに伝わつてジャンボリーになつた。意味は、ドンチヤン騒ぎということだ。そして最悪の意味から最善の意味に変わつて使われるようになった、という説である。

アジアジャンボリーについて

空前の前人気を呼ぶアジアジャンボリーは準備委員会事務局を静岡県民会館の地下に設け、専任のスタッフ五名に依り、県下各地区と日連本部と密接な連携の下に懸命に、準備に努力を続けて居ります。

当浜松地区では一日中山連盟長を迎えて応援を得、内田地区委員長を中心に、副委員長、地区コミ、事務長が協力して先づ募金運動を展開し、鋭意奔走して参りましたが、此の程日本楽器、本田技研を最後として180万円余の募金を完了、他地区に先んじて重責を果たしました。その間の御苦労に対し深く感謝致します。

其の前より、事務局に会合して諸準備に対処しての協議が十数回行われ、その都度、地区よりも出張して準備に万遺漏なきを期して居ります

当地区の奉仕者、参加者に付御報告致します。

大会本部に奉仕する者は野営部に指導者3名(内田嘉一、鈴木順一、後藤守利)と奉仕スカウト(シニヤ)が20名、国際部に指導者3名(宮沢広士、角加苗、池田敏治)、救護部へ3名(内田時世、柳本彦彦、角加苗)が奉仕します。

県連本部へは指導者3名(鈴木三部、斎藤光夫、宮司保芳)が奉仕します。奉仕者第一陣は7月25日、第二陣27日、第三陣28日第四陣29日に夫々出発致します。何れも朝7時48分発の列車に乗車します。

参加者に付きましては、牧野嶺、三輪悦爾両指導者引率して計103名が参加致します。

荷物(隊備品及个人リュック)は二カ所に集積、浜名は篠原小学校8月1日午後5時には積荷出来る様、浜松は同日午後6時に法林寺に於いて積荷出来る様に御用意をお願いします。そしてトラックは8月2日正午頃現地滝ヶ原の会場へ到着する様手配してあります。

参加者は三カ所へ集合して頂きます。浜松七団は住吉町へ7月2日朝7時 ※

※ 05分前迄に、浜名2団及び四団は同日同時に篠原小学校前へ、それ以外の各団は7時20分迄に市役所前へ集合、住吉町と篠原より来るバスを待つて乗車し7時30分出発して現地向います。現地到着は12時の予定、直ちに中食し、荷物を受取つて設営を開始します。各団の引率者は所定の書類を忘れない様に注意して、受付手続きに備えて下さい。

終了後帰浜に關しては、8月8日朝食後、撤営を開始し12時には完了して、トラックに積荷出来る様にして下さい。迎えるバスは1時に出発出来る様に参ります。夕方5時半頃には浜松市役所前へ到着の予定です。荷物は一括して法林寺へ荷卸ししますので各団毎に受取つて下さい。

期間中の詳細に關しては「基本実施要項」に記載してありますので略しますが、自由参加行事に当地区では静岡県を代表し

てお国自慢揚げを実施します。従つて「はつぴ」と手拭及び提灯(個人)と全体で祝及び糸を用意して頂きます。剣道の試合に出場希望者は防具、竹刀を携行して下さい。

私達は地元県参加者として会場の入口に野営します。浜松地区よりの参加者としての名誉を保つてその行動、動作等全てによく注意して参加して頂きたいと思ひます。

大体のプログラムを申し上げます。

- 8月2日正午頃到着、設営、9時半就寝
- 8月3日設営補強(午前中)午後2時集合開始して5時—7時開会式
- 8月4日午前及び午後自由参加行事
鼓隊・プラスバンド演奏競技、お国自慢大社、プラスバンド、ドリル、開拓マウグリの丘等、夕刻7時より大營火
- 8月5日日曜礼拝、午後大パレード。皇太子夫婦御参列、夕刻より大營火
- 8月6日午前午後自由参加行事(クロスカンントリー、天狗の巢他)又はハイキング、夕より小營火
- 8月7日自由参加行事、柔、剣道試合午後7時より閉会式、九時終了
- 8月8日午前中撤営、1時バス乗車、出発
(二面下段へつづく)

浜松地区内のスカウト運動の關係者にして自分の所属する団の事に就いて各団の育成会報や育成会だより、又は諸会合に依つてよく御承知の事と存じますが地区全体の事については地区事務所關係の一部の者が漸く知る事が出来る程度であると思われ、各団の状況や、全体の事について、御報告申上げ、進展の為に資したいと念願し急遽発刊する事に致しました

折しもアジアジャンボリーを目前の事ですので、大部分が其の記事になつてしまいましたが、次号よりは落付いて編集もし、又各方面の御意見や御感想、スカウト教育に就いて、又は連絡事項等について掲載して行きたいと存じます。何卒御諒承の上、絶大の御支援を賜り度く、又、原稿をどしどし御送り下さいます様に御願ひ申し上げます。

(地区コミ内田)

「スカウト浜松」発刊について

日連総会に参加して

宮沢 ひろし

5月11日私達は日連の総会へ出席する為車中の人となつた。今年の総会は四国の松山市で開催されることになつてゐた。神戸で下車した私達は瀬戸内海を渡つて高浜港へ。けれども神戸では多少時間の余裕があつたので街々を散歩することが出来た。

関西汽船にのりこんだがそこは新婚旅行の人々で満員だつた。デッキにはテーブルを握つて見送りの人々への感謝に新しく始まる人生の門出を味つてゐる幾組かの人達がいた。私は新しく何かが始まる時のあの貴い気持—それは入学式や入隊式と同じものであると感じた—。そしてあの貴い気持がいつまでもいつまでも続いてゆくことをひたすら祈りたい気持だつた。私達は満員の一等船室を遠慮して特別二等室のすみの方におとなしくベツトを取ることにした。しかしこの室にも二組の新婚が一緒だつた。船は一夜の航海を終つて朝方高浜港についた。港の朝は何となくすがすがしかつた。寝不足のボンヤリしたまなこに春雨が音もなくふつて朝の港町は煙つてゐた。港にはスカウト達が出迎えてくれとなく道案内をして呉れたが、旅のスタートは何となく財布が豊かである私達はハイヤーを拾つて松山へ直行する。一先ず指定の宿へ到着することにした。総会までには時間がありすぎる。でも宿屋にしてみればいい迷惑である。泊りの客が未だ立ちもしない午前八時ごろ泊りに来るお客さんはそんなに沢山はないだろう。主人も女中も余りいい顔はしなかつた。他に行くところもないので兎に角空いている部屋を頼んでしばらく休ませて貰うことにしたが、舞台つきの大広間である。三人は大の字にひつくりかえつて昨夜の睡眠不足を一挙に挽回するつもりだつたが此れが又うまくいかない。ふすま一つへだてた隣の部屋で女中達がわいわい何か話しながらユカタや枕カバーの整理をはじめたのだからそのにぎやかなこと新婚さんの見送り以上である。その中に聞えるともなく聞えるのは「お竹さん、あんた、どうしてあんな男にふられたのヨー、ワハハハ……」。たわいもないことを云つて女中仲間がその一人をからかつてゐる。とても睡眠どころではないのである。私達はすこし早目に宿を出て会場である伊予銀行本店へ行く。知らない土地は全く距離がわからない。何でもハイヤーに乗るに限るときめこんでゐるので十円区間の電車の切符を持つてゐるのに待合せの時間が二十分もあれば直ぐ車を拾つて一応金持気分を味つてみるのも旅の気安さからである。

伊予銀行は仲々立派な建物だつた。会場には既に多勢のスカウター達が集まつてゐた。さすがにスカウトの集りである。定刻には既に満員で総会は一分の遅刻もなく行われた。形の通り国旗敬礼、君が代、連盟歌、日本全国のトップクラスのリーダーばかりの集会である。極めて厳粛にプログラムは進行してゆく物事はスムーズに進行することだけで気持のよいものである。午後からは又極めて熱烈な討論、意見の発表の場であつた。カブ隊のこと、ボーイのこと、シニアの事、予算に関する事、あくまでも喰ひ下つて理解し合うまではげしく討論した。各種の総会がいつれもおさなりでともすると形式に落入り易いのにはボーイスカウトのそれは極めて熱心でありはげしいと云う事は確実である。これがはたしてボーイスカウトの総会であるかと一時は疑い度くなる程であつたがファイアがあり誠実である点

ではいつこの会社、団体の総会もこの比でない事を知つた。これは学ぶべき事の一つである。総会は五時まで続けられた。それが終ると愛媛県連盟の主催によつて開かれた晩餐会に望んだ三島総長以下全員ユカタ姿である。ユーモアを交えた道後公民館の宴会は日連のオールスタッフの集りであり先刻の烈しい討論の片鱗は一つも残つてゐなかつた。高岡のリーダーや名古屋のリーダー達その他実修所やギルウェルで一緒だつた旧友達と手をとりあつて何とも言われない血の通ひ合った同志としばらくは時の移るのも忘れて語り合つた。カブの婦人指導者も数名同席して話題に花を添えた。昨年隊長セミナーを開いたことについても私達のもつともつと隊長同志が友情を温め合う必要がある事を痛感した。講習会や実修所やギルウェルと云う処は訓練の場であるだけではない。そこで生れたあの感激の友情、これは何物にも代えがたい尊いものである。もつともつと折角生れた尊い友情を温め合う会合を持つべきだししみじみ感じた楽しかつた数時間を終つて三々五々街へ。思い思いにおみやげを買つて一。道後の街は静かに静かに更けて行つた。夜の道後、道後の夜。赤や青にいろどられたあの街々、街角には酔漢もちらほら。温泉町の夜はこよなく美しくロマンを秘めてゐる。

明くれば幾多の褒賞とウツドパツチの伝達の式典である。木全前委員長も郭公章の榮譽を受け感激—しおであつた。我々もつづいてウツドパツチ、パーチメントを与えられ三島総長自らネットカチーフをかけて下さつた。そしてニコリと私の手を握つた。私も強く強く握つた。その一瞬の感激は何にも代えがたい貴い気持になりきつてゐた。感謝と喜びの二つの感情が私の頭の中を駆けめぐつて目頭の熱くなるのをどうすることも出来なかつた。友情の拍手が場内にうづ巻いて私は緊張にふるえてゐた。

二日間共に過した全国の同志達は別れを惜しみつつ西に東に去つて行つた。さようなら、又ジャンボリーで、互いの心の中に語らずして通じ合う気持をいだきながら……（地区副委員長）

みんなであうたいましよう

アジアジャンボリー

1962年 ボーイスカウト日本連盟作詞
尾崎 忠 次 作曲

1. そびゆる富士に つどい来て
世界を結ぶ スカウトわれら
ジャンボリー ジャンボリー ジャンボリー
線返し ジャンボラツハハハハハ ジャンボリー
ジャンボリー アジャジャンボリー
2. あがる歓呼に 足音に
アジアの息吹き スカウトわれら
3. 燃える営火に つなぐ手に
通う友情 スカウトわれら
4. 明かるく強く とこしえに
かがやく理想 スカウトわれら

（一面よりのつづき）

御父兄の方で見学は御自由です、歓迎します。入口受付で会員章をお求め下さい。紙製一ケ10円、金属製パツチは一ケ100円です。

東海道線御利用の際は沼津駅乗り換えに

て御殿場線にて御殿場下車、会場直通バスが待機して居ります。12番です。会場入口で下車されて静岡連盟を御訪ね下さい。

日本ジャンボリーは四年毎に行われま

すが、今回のアジアジャンボリーは次回はどこで行われるか、当分日本では行われない事と思います。世紀の大祭典になると予想されます。御参観を御待ち致します。

浜松地区の現況

(37年度登録)

団 号	団 員 数	指 導 者	C S	B S	S S	計
浜松1	11	6		21	9	47
〃 2	8	3		19		30
〃 4	10	2		25		37
〃 6	10	1		18		29
〃 7	8	11	28	27	13	87
〃 8						
〃 9	14	1		25		40
浜名1	4	3	17	25	9	58
〃 2	7	3		20	16	46
〃 4	13	3		28		44
〃 5	5	1	15			21
〃 6	4	3	15			22
引佐1	3	2	13			18
周智1	10	2	14			26
計	107	41	88	222	47	505

ありがとうノ緑の羽根募金

国土緑化推進運動に協賛して本年もこの行事に奉仕致しましたが、当地区では割当本数12,430本のうち9,949本を消化してこれを集計して送金致しました。各団の環境、状況によつて差はありましたが、前年よりやや向上した成果を上げる事が出来ました。深く感謝して居ります。此れに依る還元金は県連の事業として、植林をして居ります。既に25町歩を完了し、37年度には森町の奥へ更に新契約して植林を開始しました。やがてその成果は大きく静岡県、そして浜松のスカウト運動の為に大きくプラスされる事を期待して更に御協力をお願い致します。

アジアジャンボリー参加人員

	日 連			日 連			配 給		
	申込員数			奉仕員数			対象員数		
	S	L	計	S	L	計	S	L	計
浜名1	1	1	2	1	1	2	0	0	0
〃 2	9	2	11	3	0	3	6	2	8
〃 4	23	4	27	0	1	1	23	3	26
浜松1	13	5	18	3	2	5	10	3	13
〃 2	12	3	15	2	0	2	10	3	13
〃 4	15	1	16	4	0	4	11	1	12
〃 6	6	2	8	0	0	0	6	2	8
〃 7	23	9	32	7	3	10	16	6	22
計	102	27	129	20	7	27	82	20	102

自 由 参 加 行 事

▶催 物

- お国自慢大会（祭礼等の郷土色豊かな演技）
- 鼓隊演奏競技
- ラッパ鼓隊模範演奏
- ブラスバンド・ドリル

▶スカウト広場

- モーグリの子
スカウトは単独または班単位で、この障害物競技場にきて、自由に楽しめる。
- 天狗の巣
あらゆる技能、特技を自慢する場所、申込歓迎、飛入り挑戦もよい。
例えば、投げ縄、担架作り、薪割り、モールス発信、人梯奇術、手芸、特殊結索、コレクション展示、模型工作、野外料理、その他何でもよい。
- 腕だめし
救急、測量、信号、木登り、ボール投げ、走巾跳び、その他多数の種目について自分の腕を試みることができる。

○開 拓

ここへ来れば開拓作業の見本がある。
滑車、丸太等の材料の用意もあるから、自分で作つて見ることができる。

例えば、はね橋、エレベーター、展望台等。

▶競 技

- クロスカントリー
- 柔 道
- 剣 道

○そ の 他

▶登 山

▶ハイキング

講 習 会 開 催 予 告

ボーイスカウト指導者養成講習会

8月14～17日の間

熱海市伊豆山伊豆山神社

会費 一人 1,000円

ガールスカウト指導者養成講習会

8月25～7日の間

浜松市住吉町 青少年の家（旧陸軍墓地）

会費 一人 700円

カブスカウト指導者養成講習会

8月28～31日の間

引佐町井伊谷宮内 青年研修所

会費 一人 800円

ボーイスカウト指導者養成講習会

9月下旬

浜松市住吉町 青少年の家（旧陸軍墓地）

会費 一人 800円

浜松地区のうごき

(4月～7月)

- 4月1日 浜名5団(新松原)説明会
宮沢、内田嘉、鈴木順参加
- 3日 三和町説明会宮沢、内田嘉、三輪出席
- 6日 浜松市体操祭打合せ会出席
内田嘉
- 9日 地区内コミッショナー会議
7.00法林寺 出席者7名
- 13日 浜松7団結成記念式内田出席
- 16日 県連理事会 於県民会館
内田地区委員長地区コミ出席
- 18日 体操祭打合せ 内田嘉、三輪出席
- 21日 三土会例会 法林寺
- 22日 県連年次総会及県大会 静岡
- 27日 浜松ライオンズクラブ例会
スピーチに尾崎県コミ出席
- 29日 J.C緑の週間行事奉仕 80名
- 5月1日 浜名6団入隊進級式
池田出席
- 3～5日 地区隊長訓練野営
於浜川 7名参加
- 6日 県連植林奉仁 牧野出席
- 10日 県連地区委員長会議
牧野出席
- 12～13日 全国総会於四国松山市
宮沢、内田嘉、鈴木順出席
- 18日 子供の為の連絡会議
三輪出席
- 19日 三土会定例会
- 20日 浜松仮9団(三和町)
地区審査 牧野、池田出席
- 22日 杉浦副会長類焼見舞
内田時世、内田嘉一、牧野見舞
- 26日 浜松仮9団県連審査
内田嘉、池田出席
- 27日 浜松体操祭 50名参加
- 29日 地区団委員長会議 於法林寺
- 6月3日 中山連盟長来浜 内田地区委員長、内田時、内田嘉、三輪
随員してジャンボリー募金
- 4日 中山連盟長に内田地区委員長
宮沢、内田嘉、三輪随員して
募金
- 6日 ジャンボリー奉仕初会議
内田嘉出席
- 10日 浜松9団結成式 150名参加
- 11日 湖西方面募金活動
宮沢、内田嘉、刑部出席
- 14日 市内募金活動 内田地区委員長、宮沢、内田嘉
- 16日 ジャンボリー輸送会議 静岡
内田嘉、三輪出席
- 〃 三土会 定例会
- 18日 湖西町役場 説明会 宮沢、
内田嘉、鈴木順、刑部出席
- 19日 浜松ロータリークラブ救急箱
贈呈式 スピーチ宮沢

- 6月19日 浜名1祝賀会 宮沢、内田嘉
出席
- 20日 県連募金会議 於静岡
内田嘉出席
- 22～25日 県教委主催キャンプ指導
者講習会 於太郎坊野営場
副野営長として内田嘉参加
- 23～24日 浜松市連合青年協議会主
催野外活動指導者講習会指導
於三ヶ日青年の家 三輪、池
田、鈴木順出席
- 23～24日 野外活動指導 於浜松青
少年の家 宮沢出席
- 28日 湖西募金活動 宮沢、内田嘉
- 30日 ジャンボリー奉仕初会
於静岡 内田嘉出席
- 7月5日 ジャンボリー募金活動
内田地区委員長、宮沢、内田
時、内田嘉
- 6日 臨時隊長会々ジャンボリーに
就いて 法林寺
- 7日 浜松4団結成記念式
宮沢出席
- 〃 県連ジャンボリー準備委員会
於静岡 内田出席
- 9日 引佐町青年キャンプ指導者打
合会 内田嘉出席
- 10日 ジャンボリー手配の為市役所
へ 内田嘉、三輪交渉
- 11日 雄略町役場 説明会 宮沢、
内田嘉、鈴木順、西山出席
- 12日 ジャンボリー募金
宮沢、内田嘉
- 14日 〃 宮沢、内田嘉、鈴木順
- 14～15日 引佐町青年キャンプ指導
於桜淵 宮沢、内田嘉、鈴木
順指導

業の提供者、進んで奉仕するスカウト
その結晶の尊い金が団、地区、県連、
日連の財政に大きくプラスされ、物心
両面に亘つての好成果を挙げ得ました
事は欲びに堪えません。

通 信

1. 郵便

郵便物はジャンボリー期間中
次の宛各で配達される。

「例」
静岡県御殿場市滝ヶ原
ボイスカウト
アジアジャンボリー内
〇〇県〇〇第〇〇団
〇〇 〇〇 殿

結 成 弥 栄

浜松第9団少年隊

浜松市三和町
結成 6月10日

団委員長 美和孫一
隊長 鈴木修

—あとがき—

ジャンボリーを控え、各隊においては
それぞれ準備に、またスカウト諸君にお
いても胸をはすませたい期待を抱い
ておることとされます。充分な準備を
して下さい。

ここに「スカウト浜松」を発行するに
あたり、各団から沢山原稿を戴いてから
と思いつつ、暇と原稿がなく編集も満足
するものでなく、ジャンボリー特集のよ
うになりました事をお詫び申し上げます。

参加出来ないスカウトも沢山あります
が、各団に於いても意義あるジャンボ
リーにする為に充分な企画を立てて御指導
下さい。

緑の羽根やら勤労行事週間には進んで
協力して下さい。成果が大でありまし
た。紙面を通じ御礼申し上げます。

今後どしどし原稿をお寄せ下さり、ス
カウティング伸展のため御力添えと御指導
を賜りますようお願い申し上げます(M)

発 行 所 No. 1

日本ボイスカウト浜松地区

事務所 浜松市成子町

TEL(2) 3018

編集発行責任者 三輪悦爾

昭和37年7月20 発行

ボブ・ア・ジョブについて

我が国としては初めての勤労行事週間
の奉仕について各団の成果を御報告申上
げます。7月10日集計を取りまとめ
て県連に送付しましたが、その成果は次の
通り。

	募 金 額	団 配 分 額
浜松4	6,175円	2,470円
〃 6	2,200円	880円
浜名1	2,683円	1,072円
〃 2	5,920円	2,378円
〃 4	7,150円	2,860円
〃 6	2,450円	980円
引佐1	3,000円	1,200円
計	29,578円	11,830円
従つて浜松地区配分額5,914円、		
県連配分額5,914円、日連配分額		
5,914円となりました。右以外の		
団は地区事務所を経由しないで県連直		
送した団が1、実施しなかつた団が3		
未報告団が2となつています。		
第一回を経験してその成果は大なるも		
のがあると思います。特に理解ある作		